



平成 21 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 コビキタス
 代表者名 代表取締役社長 川内 雅彦
 (JASDAQ・コード 3858)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役最高財務責任者 家高 朋之
 電 話 03-5908-3451

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正

並びに平成 22 年 3 月期第 2 四半期の投資有価証券評価損に関するお知らせ

平成21年7月31日付当社「平成22年3月期 第1四半期決算短信（非連結）」において発表いたしました第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)の業績予想を、下記の通り修正いたします。

また、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 22 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

第 2 四半期累計期間

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想 (A)	450	64	69	30
今回修正 (B)	535	237	242	54
増減額 (B - A)	85	173	173	24
増 減 率	18.9%	270.3%	250.7%	80.0%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	370	97	101	14

2. 業績予想修正の理由

当第 2 四半期における当社業績は、ニンテンドーDS向けWi-Fi対応ゲームの人気タイトルが複数発売されたことによりゲーム関連が好調であったほか、全般的に堅調であり、売上高においては当初予想を85百万円（前回予想比18.9%増）上回る見込みとなりました。

また、損益面においては、上期に予定していた本社移転や一部の営業マーケティング活動、及び開発委託費用の発生が下期に延期したこと等を要因に、営業利益237百万円（同270.3%増）、経常利益242百万円（同250.7%増）となる見込です。

一方、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損127百万円を計上したため、当期純利益は54百万円（同80.0%増）となる見込です。なお、今回の投資有価証券評価損の計上により、現在当社が保有する投資有価証券の簿価はゼロとなり、新たに投資有価証券評価損が発生することはございません。

なお、通期の業績予想につきましては、上期に予定していた費用の下期における発生等を考慮し、現時点では前回発表の予想数値に変更はございません。

3. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

(A)平成 22 年 3 月期第 2 四半期会計期間（平成 21 年 7 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	127 百万円
(イ)平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	127 百万円
(ロ)直前四半期（平成 22 年 3 月期第 1 四半期）累計期間（平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 7 月 31 日まで）の投資有価証券評価損の総額	— 百万円

※四半期における投資有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

(B)平成 21 年 3 月期末の純資産額	1,659 百万円
(A/B×100)	7.7%
(イ/B×100)	7.7%
(C) 最近 5 会計年度平均の経常利益額	290 百万円
(A/C×100)	43.8%
(イ/C×100)	43.8%
(D) 最近 5 会計年度平均の当期純利益額	158 百万円
(A/D×100)	80.4%
(イ/D×100)	80.4%

※経常利益および当期純利益につきましては、適時開示規則に従いマイナスの事業年度分をゼロとして、最近 5 事業年度の平均額を算出しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上